

2020年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月7日

上場会社名 キャリアバンク株式会社
 コード番号 4834 URL <http://www.career-bank.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

上場取引所 札

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券会社及び金融機関向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	2,703	2.3	14		18		15	
2019年5月期第2四半期	2,768	5.1	49		45		18	

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 28百万円 (%) 2019年5月期第2四半期 38百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	15.51	
2019年5月期第2四半期	18.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	2,619	1,080	29.1	768.98
2019年5月期	2,476	1,127	32.1	801.31

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 763百万円 2019年5月期 795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		13.00	13.00
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,038	5.0	131	27.5	129	16.4	53	0.9	54.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期2Q	993,000 株	2019年5月期	993,000 株
期末自己株式数	2020年5月期2Q	株	2019年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期2Q	993,000 株	2019年5月期2Q	993,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、雇用を取り巻く状況は有効求人倍率が高い値で推移し、依然として人手不足感が続いております。また、働き方改革やAI及びRPAの導入など、雇用環境そのものが大きく変化しております。その中で当社グループは企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たすため、質の高い人材サービスの提供を通じて双方が求めるニーズに応えてまいりました。

人材派遣関連事業においては、直接雇用への切替による派遣契約の減少等を新規受託案件で補填できなかったことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。人材派遣関連事業(関東)においては、売上高は前年同期を下回りましたが、売上総利益率の改善に努めた結果セグメント損失を縮小できました。人材紹介事業においては、売上高は前年同期を下回りましたが、医療系紹介の成約数が増加したこと及び外国人の紹介事業等が堅調に推移したことによりセグメント利益は前年同期を上回りました。再就職支援事業においては、雇用政策関連事業の受託数が増加したことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。ペイロール事業においては、給与計算処理人数が増加したこと等により、売上高が前年同期を上回り、セグメント損失を縮小できました。日本語学校運営事業においては、募集営業が堅調に推移したことで生徒数が順調に伸びたことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。その他事業は、中国語研修事業における受講者数の減少により、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,703,516千円(前年同期比2.3%減)、営業損失14,596千円(前年同期は営業損失49,589千円)、経常損失18,537千円(前年同期は経常損失45,094千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失15,401千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失18,821千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ138,008千円増加し、2,104,386千円となりました。これは主に売掛金の増加492,410千円とそれによる現金及び預金の減少358,879千円との差額等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5,308千円増加し、515,284千円となりました。

この結果、総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ143,317千円増加し、2,619,670千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ190,328千円増加し、1,172,915千円となりました。これは主に短期借入金の増加100,000千円、買掛金の増加27,955千円及び未払費用の増加36,483千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ289千円増加し、366,239千円となりました。

この結果、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ190,618千円増加し、1,539,155千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ47,300千円減少し、1,080,515千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び利益剰余金の配当による利益剰余金の減少28,310千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月9日に発表いたしました2020年5月期(2019年6月1日から2020年5月31日)の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,368,772	1,009,893
売掛金	556,290	1,048,701
その他	43,164	46,641
貸倒引当金	△1,850	△850
流動資産合計	1,966,377	2,104,386
固定資産		
有形固定資産	141,682	141,974
無形固定資産		
のれん	48,075	44,870
その他	89,631	88,025
無形固定資産合計	137,706	132,895
投資その他の資産	230,586	240,413
固定資産合計	509,975	515,284
資産合計	2,476,353	2,619,670
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,544	77,500
短期借入金	500,000	600,000
未払費用	254,455	290,939
未払法人税等	39,973	13,565
未払消費税等	46,329	64,710
その他	92,283	126,199
流動負債合計	982,586	1,172,915
固定負債		
長期借入金	350,000	350,000
その他	15,950	16,239
固定負債合計	365,950	366,239
負債合計	1,348,537	1,539,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	63,677	63,677
利益剰余金	418,568	390,257
株主資本合計	738,486	710,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,476	59,518
為替換算調整勘定	△1,261	△6,094
その他の包括利益累計額合計	57,215	53,424
新株予約権	2,030	2,030
非支配株主持分	330,083	314,884
純資産合計	1,127,816	1,080,515
負債純資産合計	2,476,353	2,619,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	2,768,545	2,703,516
売上原価	2,224,799	2,148,034
売上総利益	543,746	555,481
販売費及び一般管理費	593,335	570,078
営業損失(△)	△49,589	△14,596
営業外収益		
受取賃貸料	4,440	4,549
受取配当金	2,274	1,757
その他	4,904	1,505
営業外収益合計	11,619	7,812
営業外費用		
支払利息	1,849	2,002
貸貸費用	4,172	4,243
為替差損	1,103	4,401
その他	—	1,105
営業外費用合計	7,124	11,753
経常損失(△)	△45,094	△18,537
特別利益		
投資有価証券売却益	17,987	2,743
特別利益合計	17,987	2,743
特別損失		
訴訟和解金	—	4,714
特別損失合計	—	4,714
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,107	△20,508
法人税等	△3,111	△1,902
四半期純損失(△)	△23,995	△18,606
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,174	△3,204
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,821	△15,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純損失(△)	△23,995	△18,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,749	△45
為替換算調整勘定	△2,240	△9,458
その他の包括利益合計	△14,989	△9,503
四半期包括利益	△38,985	△28,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,017	△19,193
非支配株主に係る四半期包括利益	3,032	△8,917

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△27,107	△20,508
減価償却費	22,302	27,627
のれん償却額	3,205	3,205
支払利息	1,849	2,002
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17,987	△2,743
訴訟和解金	—	4,714
売上債権の増減額 (△は増加)	△352,483	△501,494
営業債務の増減額 (△は減少)	60,398	27,955
未払金の増減額 (△は減少)	2,138	△1,851
未払費用の増減額 (△は減少)	△162	36,504
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,916	18,384
預り金の増減額 (△は減少)	△460	24,560
前受金の増減額 (△は減少)	8,900	13,420
その他	△11,958	△5,996
小計	△333,282	△374,219
法人税等の支払額	△6,441	△30,261
法人税等の還付額	1,083	170
その他	615	△37
営業活動によるキャッシュ・フロー	△338,024	△404,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△6,982	△11,338
無形固定資産の取得による支出	△1,846	△17,057
投資有価証券の売却による収入	36,000	3,245
敷金及び保証金の回収による収入	6,128	3,266
敷金及び保証金の差入による支出	△4,086	△6,736
その他	△181	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,032	△28,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△100,000	—
配当金の支払額	△12,865	△12,852
非支配株主への配当金の支払額	△6,305	△6,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,829	80,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	401	△6,547
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△237,761	△358,879
現金及び現金同等物の期首残高	1,165,652	1,368,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	927,891	1,009,893

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。